

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 26 日作成)

委員会名	地盤調査小委員会	主 査 名：田村昌仁
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：時松孝次
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	性能を基盤とした地盤調査技術，地盤環境の維持保全のための調査技術など，最新の知見の収集分析を行い，「建築基礎設計のための地盤調査計画指針」を改訂する際の基礎資料を蓄積する。 2003 年度 地盤調査技術の現状分析と課題の整理 2004 年度 地盤環境の維持保全のための調査技術の分析と整理	
委員構成 (委員名(所属))	田村昌仁(建築研究所) 佐藤秀人(日本大学) 阿部秋男(東京ソイルリサーチ) 萩原伸治(久米設計) 金子 治(戸田建設) 木村 匡(都市基盤整備公団) 鈴木康嗣(鹿島) 常木康弘(日建設計) 酒井幸雄(基礎地盤コンサルタンツ) 平井芳雄(竹中工務店) 三町直志(日本設計)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年： 5/21 (7 人) 6/26 (6 人) 7/28 (8 人) 9/11 (7 人) 10/10 (8 人) 11/26 (9 人) 1/16 (10 人) 2/18 (7 人)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2003 年は設置初年度であり，月 1 回の委員会を開催し，「地盤調査技術の現状分析と課題の整理」を行った。特に現行の「建築基礎設計のための地盤調査計画指針」の分析では，150 以上の項目を挙げ，刊行当時の状況と現在あるいは将来の状況とを比較し，記述内容の整合性を検討した。また，外部より講師を招き，「地盤環境に関わる調査」ならびに「土砂災害の可能性調査」に関する勉強会を行った。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 目標の達成度は，概ね 90% である
その他評価すべき事項	特になし